

学生・保護者の皆様へ

岐阜女子大学
学長 松川 禮子

年末年始にかけての感染拡大防止策の徹底について（通知）

岐阜県では、12月16日現在、12月に入ってわずか半月で513人（累計で1,585人）の感染が確認され、12日には55人という1日での最多感染数を記録するなど、感染は拡大しております。岐阜県は、県内の感染拡大はクラスター化の影響が大きいこと。20代以下感染が5割近くを占めていること。県外由来の感染が4割で、その内7割が愛知県由来であること。また「飲食」による感染が25%であるといった分析を踏まえ、学生の学外活動が多くなる年末年始にかけての感染拡大防止策の徹底について、大学等高等教育機関に対し強い協力要請がありました。

本学は、来年の学修に支障が出ないように、年末年始にかけての学生の学外活動において、「自分自身を守り、家族を守り、感染拡大の防止するため」以下の感染拡大防止策実施を徹底して実行してください。

- 1 いつでも、どこでも**必ずマスクを着用**する。
「かからない」「ひろげない」は「自分自身を守り、家族を守る」ためです。
特に、アルバイト先でのリスクが高いことを認識し、マスク着用、手指消毒を徹底してください。
- 2 **体調チェックを毎日**実施する。
少しでも異常を感じたら、外での活動は絶対にしないでください。
- 3 年末年始での集まり（特に**酒類を伴う集まり**）は**回避**する。
親しい友人等との集まりは、感染リスクを高めます。
- 4 県をまたぐ（特に愛知県との往来）**不要不急の往来は自粛**する。
【帰省】
帰省について、時期や期間について家族と検討してみてください。
「自分自身を守り、家族を守る」ためです。郷里に帰る時、郷里から岐阜に戻る時、学校に登校する時は必ず体調管理を実行してください。

「かからない」「ひろげない」は、あなたの行動にかかっています。「自分自身を守り、家族を守る」ため、是非感染拡大防止策を徹底して実行してください。